



Victor

バッテリーパック取扱説明書

ご購入いただきありがとうございます。

- このバッテリーは、リチウムイオンタイプのデータバッテリーです。
- データバッテリーは、データバッテリー機能に対応したビクター製のビデオカメラまたはカメラ専用です。それ以外のモデルではお使いになれません。
- 安全にご使用頂くために、この取扱説明書とお使いのビデオカメラまたはカメラの取扱説明書を必ずご覧ください。なお疑問などがありましたら、ご購入販売店もしくは最寄りの弊社サービス窓口にご相談ください。

◆安全上のご注意

⚠危険 (人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容です)

お使いのビデオカメラまたはカメラの取扱説明書に記載されている充電器以外を使わない

- 形状が同じでも性能が異なるため、液漏れ、発熱、破裂、発火の原因となります。

バッテリーは絶対に分解、加工(はんだ付けなど)、加熱、火中投入をしない

- 液漏れ、発熱、破裂、発火し、火災やけがの原因となります。

高温の場所(60℃以上)に置かない

- 発熱、破裂、発火の原因となります。

バッテリーの端子部に金属物(ネックレスやヘアピンなど)を接触させない

- ショートして発熱し、火災やけがの原因となります。
- 持ち運ぶときや保管するときにはキャップを取りつけて金属物と端子が接触しないようにしてください。

もし、キャップを紛失してしまった場合は、ビニール袋に包むなどして端子部をふさいでください。

バッテリーを幼児の手の届くところに置かない

- 感電、けがの原因となります。

⚠警告 (人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です)

液漏れを起こしたバッテリーを使わない

- 種類が異なると、液漏れ、発熱の原因となります。
- 電池の液が漏れたときは、電池取り付け部の液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- 電池の液が身体や衣服についたときには、水でよく洗い流してください。
万一、目などに液が入った場合はきれいな水で洗った後、ただちに医師に相談してください。

水に濡らしたり、濡れたバッテリーを使用しない

- 故障、感電、発熱、発火の原因となります。

⚠注意 (人が障害を負う可能性、および物的損害のみの発生が想定される内容です)

充電中のバッテリーに長時間ふれない

- 温度が上がると、長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

◆使用上のご注意

- ご使用になるときは、必ずキャップを外してください。
- リチウムイオンバッテリーは小型で高容量のバッテリーです。しかし、冬場の屋外などの低温(10℃以下)で、バッテリーが冷えている場合、バッテリーの使用時間は短くなる特性があります。このような時は、バッテリーをポケットに入れるなどして温かくしておき、撮影直前にビデオカメラまたはカメラに取り付けてください。(カイロなどをご使用になっている場合は、直接カイロがバッテリーに触れないように、ご注意ください。)
- 充電は10℃～35℃の温度範囲でおこなってください。高温で充電するとバッテリーを劣化させる恐れがあります。また、低温で充電すると、十分な充電ができません。
- 充電後や使用後はバッテリーが温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 長期間放置すると、自己放電していることがありますので、お使いになる前に充電してください。
- 充電直後でも、バッテリーの使用時間が大幅に短くなったら、バッテリーの寿命です。新しいものをお買い求めください。
- ベンジン、シンナー、アルコールなど揮発性のものや、科学雑巾などで拭くと、変質したり故障の原因になるおそれがあります。

◆正しい保管のためのご注意

- 使用しない時は、キャップをつけて温度が上がらない乾燥したところに保管してください。
- ご使用にならないときは、充電器やビデオカメラまたはカメラからはずして保管してください。

◆リチウムイオンバッテリー(充電式電池)のリサイクルについて



Li-ion

美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。

ご使用済みの電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

安全のため、充電式電池にはバッテリーキャップを取り付けるか、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関するお問い合わせ先

小形二次電池再資源化推進センターホームページ <http://www.jbrc.com/>

ホームページがご覧になれない場合は、弊社のカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。